

6月25日に杉田劇場で催された赤い靴ジュニアコーラス第36期の定期演奏会の第2部で団員たちが演じたのは、「うらしま太郎の鬼たいじ」でした。昔々、あるところに浦島太郎という若者がおりましたから始まる物語りにキジや桃太郎、金太郎、犬、サルなどが登場し冒険の旅へと筋書きが展開する台本と作詞に小六禮次郎さんが作曲された合唱ミュージカル作品をあかいくつテンドーフット、青隊、赤隊Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの団員全員で演じました。美しい歌声が印象的だった第1部の休憩後にドキドキ、ワクワクする動きのある世界に、観ている人々をどんどん引き込んでくれる第2部でした。

長丁場の稽古を先生方の素晴らしい指導の元に低学年の団員や入団して間もない団員そしてベテランの団員が心を一つにして本番を迎えたのです。会場の皆さまの温かい大きな拍手に団員は大きな達成感と喜びを感じたことでしょう。私もまた大きな感動に浸りながら次に始まる修了式のためステージ中央に進みました。そして「赤い靴ジュニアコーラスの団員として 未知の世界に挑戦し、自分の可能性を広げ豊かな表現力と集中力、美しい協調性を学びました」という文言の修了証を今年の暮れから受験体制で休会する団員が代表となりお渡ししました。これで一年の全てのプログラムを無事に終えることができました。ひとえにご家族のご協力あればこそ成し得ることと感謝しています。休む間もなく次の週から37期が始まりますが、舞台衣装の着替えを終えてから4階の広い部屋に団員の皆さんは顔合わせのため集まりました。そこへ卒業した先輩団員が自然な流れで加わったとのこと。その日の記念風景アルバムを作ってくださいる保護者の方から「楽屋で卒団生と団員が抱き合って喜びあっていたりして、本当にいい団員のみなさんだ」といって嬉しかったです。との嬉しいお言葉と「高3のとき受験でクリスマスキャロルに出られなかった大学1年生がもう一度キャロルに出たい」と話していたことなどホットな様子をお寄せくださいました。酒井悦子先生からも先輩の団員一人ひとりから後輩の団員へ定演の感想を話してもらいましたとのメールを頂きました。クリスマスキャロルのインターコンに続き、先輩の皆さんの応援が恒例になり嬉しいことですね。

何回もお話したかもしれませんが、私も今回の浦島太郎の物語と同じようなことを考えたことがあります。今からから88年前のことです。小学校5年生の時、5・6年生のクラス対抗の劇コンクールがありました。当時劇ができるような今という台本を書いて想像の世界を楽しんでいました。タイトルは「神代のこどもたち」で、出て来るサルを鹿にすることを先生に話したところ、「松永、それいいね。来週皆で読んでみよう」ということになり、早速台本を謄写版で刷って渡すことになりました。皆、自分が何の役をやりたいかで大変なことになりましたが、役は先生に決めて頂くことになりました。この話が隣のクラスに聞こえて、松永がほかに書いたものがあつたら貸してくれと先生を通じてと言ってきたのです。「まだ先生にお見せしておりませんが、『昭和の桃太郎』というのがあります。軽くて、面白いものですが」と少し遠慮げみに持っていきましました。桃太郎は誰でもご存じですが、私は芥川龍之介先生の書いた



第36期赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会
【写真下】合唱ミュージカル「うらしま太郎の鬼たいじ」
犬飼裕一氏 撮影

洋舞文化の流入口・発祥の地・横浜中區に集う！
国際色豊かなジャンルのダンスチームが交流するダンスの祭典

17th 2023.7.30(日)
関内ホール(大ホール)

中区ダンスフェスティバル

時間：第一部 12:30～ ・ 第二部 18:00～

横浜市民子どもミュージカル10周年記念公演

「横浜うらしま伝説2023」

開催日：8月26日(土) ①14:00 ②18:00
8月27日(日) ③11:00 ④15:00
会場：関内ホール・小ホール
※詳細は左記参照。赤い靴関係者割引有り。
観覧ご希望の方は赤い靴事務局まで。

た桃太郎その物語を読んで関心を持ちました。図書館で借りて先生にその本をお貸しのですが、これ以上この本のように固くなつては楽しくないから、松永の書いた物語でいいと言われたので台本をお貸ししたのです。『ある日、大きな桃の木に人が入れる位の大きな袋がさがっていました。カラスがこれを破ると中から鬼の子が2人出てきました。頭に小さい角がありました。目も口もかわいく虎の皮のパンツをはいていました。おじいさんが「本当に鬼かい」と聞くと、「そつだよ。一人は兄弟さ」、おばあさんは「可愛いね。桃のジュースだよ。お飲み」と言いました。そしておじいさんが名前をつけてお兄ちゃんは「おにい」弟は「おとう」と呼びました。そして、兄弟の一番好きな遊びは「鬼ごっこ」でした。さて、鬼が島には無数の鬼がいて、2人の子も鬼の噂はすぐに伝わり連れに来るのではとおじいさんおばあさんは心配をしましたが、こども鬼を迎えに来た鬼ヶ島の鬼たちは、こども鬼が楽しそうにしている様子を見て安心しました。おばあさんが優しくしてくれるので子鬼たちは帰りたいかとまで言っていました。あの桃太郎は、伴の猿蓑に、きび団子はいくら食べてもよいと言いい、すっかり鬼たちと仲良しになって毎日朝早くから鬼ごっこしていました。これが小学生の私の物語でした。「芥川先生の話しはもっと厳しいけれどこれでもいいですか」というと先生は「上出来」といつてくれました。大人になつてから芥川先生の物語は当時、アジア侵略や権益を要求する日本の外交の様子を揶揄していることが分かりました。江戸期には国文学者の本居宣長先生を中心に古くから伝わる日本のおとぎ話を後世に伝えようと努力された先生方が多くなつたと言います。

さて、8月には横浜市民子どもミュージカル「横浜うらしま伝説2023」が関内小ホールで上演されます。脚本・演出。作詞は万田祐介先生、音楽監督、作曲・作詞は天野一平先生のコンビによる横浜生まれのオリジナル作品です。ご覧になる方がこれぞミュージカル！と喜んで頂ける仕上げになっていきます。こども達のパワーと衣装のセンスと見所いっぱいになっていきます。これからも百人百様の物語が生まれるとよいですね。皆さんもきつと続いてください。楽しみにしています。

令和5年6月30日付(7月13日発行) 団長 松永 春

今後のスケジュール

★7月30日(日) 中区ダンスフェスティバル2023 場所：関内ホール・大ホール 時間：第一部 12:30～ 子ども中心 第二部 18:00～ 大人中心 料金：600円
★8/18(金) 「第17回東大忌」 会場：元町あかいくつスタジオ ゲスト：野中正先生
★8/26(土)・27(日) 横浜市民子どもミュージカル 場所：関内ホール・小ホール 時間：8/26 ①14:00 ②18:00 8/27 ③11:00 ④15:00 料金 一般 2,500円 高校生以下 1,300円
★10/15(日) 東京湾大感謝祭 場所：横浜市庁舎 1Fアトリウム 出演：横浜市民子どもミュージカル 観覧無料 ※詳細後日
★11/12(日) ハローよこはま 場所：像の鼻パーク特設ステージ 出演：赤い靴ジュニアコーラス 観覧無料 ※詳細後日